

地域学校協働
基盤活動

土曜日等の教育支援活動

地域学校

協働活動

放課後子供教室

子ども未来塾



平成 29 年度
「地域学校協働活動」
実践事例集

北海道教育委員会

平成 29 年度「地域学校協働活動」実践事例集 もくじ

■事例集の発行にあたって

■平成 29 年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞活動

01 遠別町 (留萌管内) 土曜日等の教育支援活動

02 白糠町 (釧路管内) 土曜日等の教育支援活動

■各市町村における実践事例

03 厚真町 (胆振管内) 地域学校協働基盤活動

04 様似町 (日高管内) 地域学校協働基盤活動

05 訓子府町 (林-㇏管内) 地域学校協働基盤活動

06 上士幌町 (十勝管内) 地域学校協働基盤活動／コミュニティ・スクール

07 釧路市 (釧路管内) 地域学校協働基盤活動

08 砂川市 (空知管内) 放課後子供教室

09 当別町 (石狩管内) 放課後子供教室

10 積丹町 (後志管内) 放課後子供教室

11 知内町 (渡島管内) 放課後子供教室

12 根室市 (根室管内) 放課後子供教室

13 奥尻町 (檜山管内) 土曜日等の教育支援活動

14 新冠町 (日高管内) 子ども未来塾

15 上富良野町 (上川管内) 子ども未来塾

16 浜頓別町 (宗谷管内) 子ども未来塾

事例集の発行にあたって

平成 27 年 12 月、中央教育審議会において、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」が取りまとめられました。この答申では、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進するため、新たな体制として「地域学校協働本部」を全国に整備することや、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の一層の推進を図ることなどが提言されています。

この答申を受け、平成 29 年 3 月に社会教育法が改正され、市町村教育委員会が「地域住民等と学校との連携協力体制の整備、地域学校協働活動に関する普及啓発その他の必要な措置を講ずるものとする」（社会教育法第 5 条の 2 項）、また、「地域学校協働活動推進員を委嘱することができる」（社会教育法第 9 条の 7）などの規定が整備されました。

そのため、各市町村においては、従来の学校支援地域本部等の地域と学校の連携体制を、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する「地域学校協働本部」へと移行することや、地域学校協働活動に関し、地域住民と学校との情報共有や助言等を行う「地域学校協働活動推進員」を委嘱することなど、学校と地域が力を合わせて子どもたちの成長を支える体制を地域の実情に応じて構築することが求められています。

こうしたことから、道教委では、各地域における地域学校協働活動の円滑かつ効果的な実施を推進するため、「平成 29 年度『地域学校協働活動』推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞した活動をはじめとして、道内各地で先駆的に取り組まれている事例を実践事例集としてまとめました。

各市町村教育委員会や地域学校協働活動関係者の皆様におかれましては、それぞれの地域や学校の実情や特性、地域と学校との連携・協働の推進状況や活動の発達段階を踏まえ、今後の活動の充実が図られるよう、本事例集を御活用いただければ幸いです。

最後に、本事例集の作成にあたりまして、関係市町村教育委員会の皆様の多大なる御協力をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

平成 30 年 3 月

北海道教育庁学校教育局義務教育課教育環境支援・研修担当課長 谷 垣 朗

地域の人・こと・ものにふれ、郷土愛を育む土曜学習

遠別町 留萌管内

【活動名】

子どもチャレンジ教室

【関係する学校】

遠別小



キャンプ「カブトムシ採り体験」の様子

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
	土曜日等の教育支援活動	○ 統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	設置日		委員数	児童生徒数	学級数

1 活動の概要

- 遠別町では、「人を育てる、えんべつの学び」を基本理念に、地域で活躍する人材を活用し、地域が一体となって、子どもたちを育む土曜学習を実施している。
- 自然体験や郷土学習などを通じ、郷土を愛し、心豊かに生きる力を育むことができるプログラムを計画し、平成29年度は、年5回実施している。

2 特徴的な活動内容

- 様々な調査結果から、子どもの頃の体験が豊かな人ほど、大人になってからの社会性等の資質・能力が高いことが明らかになっていることを踏まえ、継続的に多彩な体験活動を提供できるよう、関係団体と調整を図るとともに、毎年事業内容を変更しながら実施している。
- 地域の景勝地を巡り、郷土学習を行うハイキングや、地域のお店や事業所を訪問するマチ探検を実施し、町の歴史を知るとともに、町民と交流する取組を実施している。
- 地域で活躍する人材を講師に迎えることで、地域の方と子どもたちの異世代交流を図るとともに、子どもたちと講師の双方がコミュニケーションスキルを高めたり、郷土への意識の向上につながるよう計画している。



コーディネーター：吉村 巧佑 氏

3 事業の成果

- 地域の様々な分野で活躍している人材や団体を講師に迎えることで、住民の活躍の場が生まれるとともに、地域全体で子どもたちを育てる意識の醸成につながった。
- 多様な郷土学習の機会を提供することで、子どもたちに郷土愛を育むとともに、長期にわたりチャレンジ教室を継続することで、過去に参加した子どもが講師として活躍するなど、地域人材の養成の機会となった。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実

- 教育委員会社会教育係全体でコーディネート役を担い、地域と学校との連携を促進

多くの住民参画

- 事業内容に合わせ、地域の様々な分野で活躍する方や企業等と連携

地域の特色を生かした活動

- 郷土ハイキング・マチ探検を通じて町の歴史や文化を学び、地域の方と積極的に交流

土曜授業を活用した「ふるさと教育」の推進

白糠町 釧路管内

【活動名】

白糠町土曜授業

【関係する学校】

白糠小・庶路小



白糠小学校のアイヌ文化出前授業

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
	土曜日等の教育支援活動	○ 統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		0人	11人	304人	H28	無
コミュニティ・スクール	設置日		委員数	児童生徒数	学級数	

1 活動の概要

- 白糠町内の小中学校では、平成 28 年度より年 5 回の土曜授業を実施している。
- 地域資源を有効的に活用しながら地域の文化団体や町内会、企業などと連携・協力し、白糠町が教育の基軸としている「ふるさと教育」を地域全体で推進している。

2 特徴的な活動内容

- 白糠小学校・庶路小学校では、白糠アイヌ文化保存会による出前授業を実施している。①カルタによるアイヌ語学習、②伝統楽器である「ムックリ」の演奏体験、③古式舞踊輪踊りの体験、④アイヌ民族料理の調理体験など、学年に応じた内容を取り上げ、地域のアイヌ文化を学ぶ取組が行われている。
- 庶路小学校では、地域が海岸に位置していることから、大津波に対する防災教育の一環として、地域の町内会や企業と合同で津波避難訓練を実施し、地域の課題を共に考える機会としている。訓練当日は、地域の人々が避難経路に立ち、子どもたちを見守りながら避難し、安全を確保している。



推進員：町教委社会教育課職員

3 事業の成果

- 地域の文化に触れ、地域住民と関わる機会を充実させることで、子どもたちの学習がより一層深まり、地域の良さや課題を共に見つめるきっかけとなった。
- 地域と連携することで、白糠町「ふるさと教育」の推進に向けた取組を一層深めることができ、平成 30 年度から庶路地区で開始するコミュニティ・スクール導入に向けた土台づくりにつながった。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネートの機能の充実	■教育委員会社会教育課全体がコーディネーター役を担い、地域と学校の連携を推進
多くの住民参画	■地域資源を有効的に活用するため、地域の文化団体や町内会、企業等と連携
地域の特色を生かした活動	■白糠アイヌ文化保存会による出前授業、津波被害に備えた地域合同避難訓練を実施

教育活動を応援する、地域住民・企業のネットワーク

厚真町 胆振管内

【活動名】

地域学校協働本部『あつまるねっと』

【関係する学校】

町内全小・中学校



地域人材を活用したスケート教室

基本データ	地域学校協働基盤活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			2人	0人	42人	H29	有
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			1人		25人	H24	有
			実施場所	学習支援	児童クラブとの連携		
			小学校体育館、学校林等	無	連携型		
土曜日等の教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
		1人	0人	20人	H27	有	
コミュニティ・スクール	○		設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
			H29.12.1	17人	361人	28	
			※4校で導入 委員数等は4校の合計数				

1 活動の概要

- 厚真町では、平成29年4月に地域学校協働本部「あつまるネット」を設置し、平成29年12月からコミュニティ・スクールを導入している。
- 社会教育主事と地域連携担当教諭等が連携し、地域住民、企業による支援可能な取組と学校の希望する支援のニーズをマッチングし、教育活動のコーディネートを行っている。



社会教育主事：宮下 桂 氏

2 特徴的な活動内容

- 上厚真小学校では、保護者や地域住民が協力して農業機械などを持ち寄り、スケートリンクの整備を行っている。
- 厚真中央小学校及び上厚真小学校では、地域人材を活用した水泳教室やスケート教室を実施している。水泳教室では、基本的な泳法や着衣泳法の指導、スケート教室では、スケート協会の指導員が初心者から競技会に参加している子どもまで、専門的な指導を行っている。
- 北海道家庭教育サポート企業等制度の協定を結んだ町内29の企業が、『あつまるねっと』の一員として、厚真中学校、厚南中学校の職場体験等の受け入れ、ハスカップ狩り、稲刈りなど地域産業体験の提供、登下校時の見守り、学校行事の協力など様々な教育活動の支援を行っている。

3 事業の成果

- 厚真町は、これまでも地域と学校が連携し、教育活動に取り組んできたが、『あつまるねっと』の設置・活用により、地域学校協働活動に関わる地域住民が増え、その活動が広がり始めている。
- 水泳教室やスケート教室に、専門的な知識や技術をもった地域人材を活用することで、運動が苦手な子どもから、より技術を高めたい子どもまで、多様な子どもの状況やニーズに対応することが可能となり、学習活動を充実することができた。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実	■社会教育主事が地域の窓口、地域連携担当教諭等が学校の窓口となり活動を推進
多くの住民参画	■地域住民ができること、得意なこと、企業の取組などを生かした、登録制のネットワークの構築
地域の特色を生かした活動	■保護者や地域住民の協力によるスケートリンクの整備、町内企業の協力による職場体験・産業体験の実施

幅広い地域住民による子どもの学習や体験活動の支援

様似町 日高管内

【活動名】

様似町学校支援ボランティア

【関係する学校】

様似小・様似中



様似小学校の家庭科授業でのボランティア

基本データ	地域学校協働基盤活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人	2人	26人	H20	有
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	実施場所			学習支援	児童クラブとの連携		
土曜日等の教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
コミュニティ・スクール			設置日	委員数	児童生徒数	学級数	

1 活動の概要

- 様似町では、平成 20 年度から学校支援ボランティアが小・中学校の授業や学校行事の支援、グラウンド整備などの環境整備を行っている。
- 地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民等の協力で社会総掛かりでの教育を実現するため本事業を推進している。

2 特徴的な活動内容

- 社会教育担当職員がコーディネーターを担っており、学校・子ども・ボランティアそれぞれに、有意義な活動となるよう配慮することにより、学校とボランティアともに良好な関係が保たれている。
- 毎年、全町民を対象にボランティアの募集を行い、通常の学習や行事のサポート、環境整備等の学校支援ボランティアのほか、読み聞かせや茶道などの特技をもった個人ボランティアにも登録をいただいている。学校支援ボランティアには、授業や学校行事などで、町内全ての児童生徒への学習活動等の内容に合わせて支援を依頼している。
- 登録しているボランティアは、負担のない範囲で参加し、学校支援ボランティアの活動を通して、楽しさとやりがいを感じることができている。



推進員（写真左）：様似町教委職員

3 事業の成果

- 継続的かつ組織的な活動を続けてきていることから、学校や学校支援ボランティアとのニーズにあった活動が展開されている。
- 活動が継続される中で、地域や学校双方の様子を知る学校支援ボランティアが多くなってきており、平成 29 年度から開始した小中一貫校としての取組や平成 30 年度に導入するコミュニティ・スクールにつなげることができた。また、学校と地域の連携・協働への機運を醸成することができた。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 社会教育担当職員がコーディネーター役を担い、地域住民が活動に気軽に参加できるよう配慮

多くの住民参画

- 子どもたちの健やかな成長のために継続的な活動となるよう団体との連携強化や広報の工夫

地域の特色を生かした活動

- 様似中では、アポイ岳の自然再生事業や地域住民による伝統的な大凧づくりの指導を継続的に実施

地域と学校の「つなぎ役」として機能

訓子府町 オホーツク管内

【活動名】

訓子府町学校支援地域本部

【関係する学校】

町内全学校、認定こども園ほか



野外ふれあいコンサート

2 特徴的な活動内容

- 学校支援地域本部では、子どもたちに豊かな体験活動を提供するために地域の人材や資源の把握、学校との調整を行っている。
- 居武士小学校区の地域住民及び町内外の音楽愛好家の方々が一堂に会し、「音楽を通して地域と学校が一体となり、地域全体で子どもたちを育てること」を目的として「野外ふれあいコンサート」を実施している。4月に実行委員会議を開き、企画、ステージ、広報等の役割分担を確認し、演奏の練習や打合せを放課後等の時間に行うことで、子どもにとって様々な地域の大人と関わる絶好の機会となっている。
- 地域住民が子どもの学びを支援することにより、学校と地域のつながりが深まるとともに、ふるさとへの愛着や誇りを育む機会となっている。



スクールサポーターによる陶芸教室

3 事業の成果

- 学校と地域が「子どもたちと地域住民が共に楽しむ場を作る」という思いを共有することで、一体感が生まれ、よりよくするためのアイデアを出し合うなど、学校や地域の活動に主体的に関わる住民が増えた。
- 事業を通して、地域の方々と子どもたちとの交流が深まり、積極的に講師や活動の支援など様々な学校の教育活動に関わる方が増えてきている。

基本データ	地域学校協働基盤活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人	10人	200人	H19	有
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			実施場所	学習支援	児童クラブとの連携		
	土曜日等の教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール		設置日	委員数	児童生徒数	学級数	

1 活動の概要

- 子どもたちの豊かな体験活動を支援するために平成19年度から学校支援地域本部を組織し、学校と地域を知る教育専門員が窓口となり、学校のニーズに対応している。
- 地域住民が登録するスクールサポーターを学校へ派遣し、様々な学校の教育活動を支援している。スクールサポーターが地域と学校のつなぎ役として機能している。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 学校と地域を知る退職校長が教育専門員となり、関係者との連絡・調整を図り、地域学校協働活動を推進

多くの住民参画

- 話し合いによる活動目標の共有及び事業案内チラシの作成、学校便り、まちの広報誌への掲載

地域の特色を生かした活動

- 地元の家庭教育サポート企業等とも連携し、学校のニーズに対応した講師の派遣

児童生徒と共に学ぶ～「ゆめ育」応援団

上士幌町 十勝管内

【活動名】

コミュニティ・スクール

【関係する学校】

上士幌小・萩ヶ岡小・糠平小・上士幌中



「はたらくじどう車」での車両の展示

2 特徴的な活動内容

- CSコーディネーターと「ゆめ育」応援団を中心とする地域人材が連携し、教科指導における様々な取組や読書活動、放課後活動を支援している。今年度は、朝の自主活動の時間や中休みを利用した「読み聞かせ」活動、小学校1年生の国語の教科書に記載されている「はたらくじどう車」での車両の展示や校外学習、キャリア教育などの取組が行われている。
- CSレターきずな・CSカレンダーを月1回発行し、毎月の広報誌に掲載している。学校運営協議会委員の紹介やCSコーディネーターの活動の報告、各学校の協議会の様子、支援活動の様子、支援者の紹介、地域の活動の紹介などの内容を取り上げることで、町民全体への周知や情報共有とともに、CSコーディネーターの業務の「見える化」を図っている。



CSコーディネーター：橘 大介 氏

3 事業の成果

- 地域住民と児童生徒が関わる機会を充実させることにより、児童生徒に様々な気付きや学びが生まれるとともに、地域住民に「一緒に学ぼう」「ともに地域を創ろう」という機運を醸成することができた。
- コミュニティ・スクールの取組を活用することにより、児童生徒の学び・地域の学びが充実するとともに、学校・家庭・地域の連携した取組が活性化し、互いの“顔の見える”まちになってきている。

基本データ	地域学校協働基盤活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1名	0人	108名	H28	無
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	実施場所			学習支援	児童クラブとの連携		
	土曜日等の教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
			上士幌小 H28.4.1	9名	212名	13	
			萩ヶ岡小 H28.4.1	5名	13名	5	
			糠平小 H28.4.1	5名	6名	3	
			上士幌中 H28.4.1	7名	128名	7	

1 活動の概要

- 上士幌町では、平成28年4月から町内の全小中学校でコミュニティ・スクールを導入し、CSコーディネーターを配置している。
- 「ゆめ育」応援団を中心とした地域の人的・物的資源との連携や、SNS等を利用した情報発信による開かれた学校づくりを推進している。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- CSコーディネーターが校内で勤務し、地域と協働した学習活動の企画・調整・運営を実施

多くの住民参画

- 家庭教育サポート企業等やサークル、個人が学校の支援に参加できる「ゆめ育」応援団を結成

地域の特色を生かした活動

- 上士幌中では、地域の方を講師に迎えた「農業体験前の講話・トーク」で町の農業の方向性を議論

コーディネート機能の充実を目指す「地域学校協働本部」

釧路市 釧路管内

【活動名】

釧路市地域学校協働本部

【関係する学校】

市内全小・中学校



地域コーディネーター交流会の様子

基本データ	地域学校協働基盤活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人	7人	701人	H28	有
	子ども未来塾	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			0人	32人	-	H24	有
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
				4人	22人	H20	有
			実施場所	学習支援	児童クラブとの連携		
			釧路市立興津小学校	有	連携型		
	土曜日等の教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			-	-	-	H26	無
	コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
			H26.4.1	112人	1970人	99	
※9校で導入 委員数等は9校の合計数							

1 活動の概要

- 釧路市では、過年度に実施していた「学校支援ボランティア」の取組をベースとして、地域学校協働本部の枠組を活用し、より一層教育支援活動の充実を図っている。
- 学校ごとに活動内容は異なるが、主に交通安全指導、本の読み聞かせ・図書整理、学校環境整備・花壇整備、清掃活動、学校行事の補助などを実施している。

2 特徴的な活動内容

- コミュニティ・スクール導入校に地域コーディネーター（推進員）を配置することにより、コミュニティ・スクールと両輪で学校・家庭・地域を結ぶ取組を推進している。
- 教育委員会に統括コーディネーター（統括的な推進員）を配置し、各地域コーディネーターに対して、LINEなどSNSも活用しながら連絡調整を行うことで、活動のサポートを行っている。
- 統括コーディネーターは、家庭教育支援事業における講師、放課後子供教室事業における教室運営者への助言、子ども未来塾事業における放課後サポートなどを務め、学校を核とした地域力強化プラン関係事業のつなぎ役として力を発揮している。



統括コーディネーター：日野 登 氏

3 事業の成果

- 統括コーディネーターが、全市的な観点から各地域コーディネーターの活動を支え、関係事業をつなぐ役割を担うことで、地域学校協働活動が総合的にコーディネートされ、より充実したものになっている。
- 地域コーディネーターがコミュニティ・スクール協議会に参加するなど、コミュニティ・スクールと連動した取組を展開することで、実情に応じた地域と学校との「連携・協働」の体制が構築できている。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実	■統括コーディネーターが中心となり、「地域コーディネーター交流会」を開催し、ネットワーク化を促進
多くの住民参画	■学校支援ボランティアの活動紹介・募集を行う facebook を開設し、情報を広く発信
地域の特色を生かした活動	■鳥取小学校では、学校の授業と地域の神社祭での伝統芸能を結び付けた体験的な教育活動を実施

こんな
活動です

地域のサポーターが子どもの見守りと 豊かな体験活動を推進！

砂川市 空知管内

【活動名】

砂川市放課後子ども教室

【関係する学校】

豊沼小・空知太小 他



地域の先生タイム（茶道）

2 特徴的な活動内容

- 活動内容は「ふれあい遊びタイム」「地域の先生タイム」「四季タイム」「こつこつ勉強タイム」「読書活動タイム」「スポーツ・レクタイム」があり、「地域の先生タイム」では、公民館サークルなどの地域の方がボランティア講師となり茶道や太極拳などの学びの場を提供している。そのほかに、月1回「地域親子ふれあい日」を設け、地域住民や親子の触れ合いの場、地域に放課後学校の理解を深めてもらう場としている。
- 帰宅するまでを放課後学校とし、その時間を「さよならタイム」と位置付け、子どもたちがサポーターとともに、通学路の安全を学習しつつ、異年齢のグループで帰宅する活動としている。サポーターは、地域住民が担当し、子どもたちの自宅の近くまで一緒に歩き、見守り活動を行っている。

3 事業の成果

- 放課後学校で子どもたちと一緒に活動したり、知り合った子どもから別の機会に声をかけられたりするなど、子どもたちと触れ合うことがサポーターの生きがいづくりにつながっている。
- 学校のカリキュラムでは取り組むことが難しい多種多様な体験活動による学びの機会の提供や、地域住民、異学年との豊かな交流が子どもたちの成長につながっている。

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		9人	26人	34人	H19	有
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
	豊沼小・空知太小他		有	一体型		
	土曜日等の教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	設置日		委員数	児童生徒数	学級数

1 活動の概要

- 豊沼小学校、空知太小学校では、週1回生涯学習アドバイザー、社会教育主事、サポーターによる「放課後学校」を実施している。
- 放課後学校の各回の詳しい活動内容は、毎月実施しているサポーター会議で関係者が協議を行い、決定している。（★サポーターは、老人クラブなどの地域人材を活用している。）



四季タイム（春の地域探検）

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 放課後子ども教室運営委員会にコーディネーターを置き、学童保育、保護者、学校との連携を推進

多くの住民参画

- 公民館サークル、地域の達人など地域人材を「地域の先生タイム」の講師などとして活用

地域の特色を生かした活動

- 校区の地域住民と連携し、「学び」と「安全管理」の融合した活動を実現

こんな活動です

ボランティアや大学生が、宿題や自主学習をサポート！

当別町 石狩管内

【活動名】

当別町放課後学習会

【関係する学校】

当別小・西当別小・当別中・西当別中



当別小での放課後学習会

基本データ	地域学校協働基盤活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人	0人	117人	H20	有
	子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			1人		20人	H27	有
			実施場所	各小中学校	学習支援有	児童クラブとの連携一体型	
	土曜日等の教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			1人	0人	10人	H27	有
	コミュニティ・スクール	○		設置日	委員数	児童生徒数	学級数
				当別小・中：H29.10.1	11人	577人	25
				西当別小・中：H29.11.1	21人	418人	20

1 活動の概要

- 当別町では、平成 27 年度から、全小中学校において週 1 回程度を目安とした放課後学習会を実施している。
- 学習会には、住民や近隣の大学生など地域の様々な人材がボランティアとして関わり、児童・生徒の学ぶ意欲や基礎学力の向上、学習習慣定着のためのサポートを行っている。

2 特徴的な活動内容

- 各小学校においては校舎内に設置している「子どもプレイハウス」を会場に年 40 回程度、各中学校においては教室を会場に年 25 回程度、宿題や自主学習等の放課後活動を行っている。
- 学校支援ボランティアが児童・生徒の学習をきめ細かにサポートし、学ぶ楽しさや、わかる喜びを体感させ、学習意欲の向上や家庭学習の習慣化を図っている。
- 学校支援コーディネーターが、地域住民のボランティア参加を促進し、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる基盤を構築するとともに、各種活動を通じて地域の活性化や学校を核とした地域づくりを進めている。



コーディネーター：小松 芳幸 氏

3 事業の成果

- 放課後学習会の継続実施及び学校支援ボランティアのきめ細かなサポートにより、児童・生徒の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化につなげることができた。
- 放課後学習会に携わる学校支援ボランティアが、学習会以外の学校支援地域本部事業にも参画するなど、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりの一助とすることができた。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実

- 学校支援地域本部に学校支援コーディネーターを配置し、地域と学校の連携を推進

多くの住民参画

- 地域の人材を有効的に活用するため、地域住民に対し学校支援ボランティアの登録を促進

地域の特色を生かした活動

- 保護者や地域の方々の参画を得ているコミュニティ・スクールと連携・協働して実施

こんな
活動です

住民福祉課と連携した放課後の子どもの居場所づくり

積丹町 後志管内

【活動名】

放課後子ども教室

【関係する学校】

美国小



地元の食材を利用した食体験活動

2 特徴的な活動内容

- 「放課後子ども教室」、「ランドセル広場」の連携した取組を展開するため、年間の活動日について、打合せをして決めるとともに、特別活動の実施の際には、それぞれの指導員が相互に協力したり、積極的な情報交換・連携を行ったりしている。
- 通常の学習活動や自由遊びの他に、特別活動として、①農家の協力を得た「食体験活動」、②スポーツ推進委員の専門性を生かした「スポーツ活動」、③ALTによる「英語遊び」等を地域人材の参画を得て実施している。特に「食体験活動」については、地元の農家から食材の提供だけではなく、実際の調理の指導にも加わっていただいている。



子どもと活動する推進員

3 事業の成果

- 放課後子ども教室の取組が定着することにより、参加児童が増えてきている。また、他の社会教育事業に対しても関心をもつ家庭が増えてきており、相乗効果が高まってきている。
- 9名の教育活動推進員一人一人が、自身の知識や経験を生かした活動内容を主体的に考え、子どもたちへ指導することにより、推進員としての生きがいづくりにつながっている。

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		1人	9人	18人	平成23年	有
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
	美国小 他		有	-		
	土曜日等の教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	設置日		委員数	児童生徒数	学級数

1 活動の概要

- 積丹町では美国小学校を放課後子ども教室の会場の一つとして、余裕教室・体育館等を活用し、週に2日(火・木)・年間80日程度、放課後に学習やスポーツ・文化活動の機会を提供している。
- 住民福祉課でも「ランドセル広場」という名称で週3日、放課後の子どもの居場所作り事業を実施しており、連携した取組を行っている。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 町の非常勤職員であるコーディネーターが、住民福祉課・学校との連絡調整を実施

多くの住民参画

- 「放課後子ども教室」だよりを発行し、住民に情報提供を行うことにより、参画しやすい環境を醸成

地域の特色を生かした活動

- 体育館を拠点とし、地域のスポーツ推進委員が中心となったスポーツ活動の充実、地元の食材を活用した活動の実施

こんな活動です

多様な交流を促進する教育活動の展開

知内町 渡島管内

【活動名】

知内町放課後子供教室

【関係する学校】

知内小・涌元小・湯ノ里小



【知内小教室】けん玉遊びによる世代間交流

2 特徴的な活動内容

- 知内町放課後子供教室では、3地区に教室を開き、各地区の子どもの人数や保護者・地域住民の実態に合わせて活動を展開している。
- 知内小教室では、放課後児童クラブと一体型で活動を展開し、夏休み期間には体育協会と協働でスポーツチャレンジ水泳教室を実施している。また、知内みらい大学の高齢者とのけん玉遊びを通して、世代間交流を行っている。
- 涌元小教室では、道民カレッジと連携し、昨年度は全学年で「ほっかいどう学ネット検定ジュニア検定」に向けた学習会を実施した。
- 湯ノ里小教室では、小学校と保育所の複合施設として、日頃から幼児、小学生とその保護者が教室に入出入りする利点を生かした、地域住民の交流の場となっている。

3 事業の成果

- 教育活動推進員が主体となって、体験活動等を行うことにより、子どもたちにとっては、達成感を得る場となるとともに、自分の居場所づくりやよりよい仲間づくりの実践の場となっている。
- 各校の教育活動推進員が主体的に事業を企画し、地域住民と協力することで、その地区に合った体験活動を提供したり、交流を促進したりすることが可能となり、子どもの活動意欲が高まるとともに、保護者や地域住民の関わり合いを広げる場となっている。

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
		1名	6名	43名	平成19年	有	
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携一体型		
	知内町中央公民館、涌元小、湯ノ里小		有				
	土曜日等の教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
	コミュニティ・スクール	設置日		委員数	児童生徒数	学級数	

1 活動の概要

- 知内町では、町内3地区（知内、涌元、湯ノ里）に放課後子供教室を開設し、学習支援や異学年交流を通して、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を提供している。
- 教育活動推進員が主体的に各種体験活動や世代間交流を実施し、子どもと保護者、地域住民との交流を促進している。



【湯ノ里小教室】教育活動推進員 高橋 幸恵 氏

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実	■ 社会教育担当職員が協働の窓口になり、各教室の教育活動推進員との連絡・調整を実施
多くの住民参画	■ 積極的に事業の広報を行うことにより、町民の事業理解及び事業への参画を促進
地域の特色を生かした活動	■ 教育活動推進員の主体的な事業企画・運営による、保護者や地域住民の交流促進

こんな
活動です

地域の教育資源を活用した多様な学習活動

根室市 根室管内

【活動名】

花咲放課後教室

【関係する学校】

花咲小



【地元企業の協力による「バスの日 ミステリーツアー」】

2 特徴的な活動内容

- 花咲放課後教室では、推進員（コーディネーター）が、地域ボランティアの方や関係団体等と連絡調整を行い、「根室の自然」「北方領土」などのふるさと学習や防災、交通安全教室など、年間を通じて地域の教育資源を活用した事業を実施している。
- 学校や市教育委員会と連携の上、学校の空き教室や体育館等を活用し、体力向上のための運動プログラムを実施している。
- 地元企業の協力を得て、路線バスの乗車体験を行う「バスの日 ミステリーツアー」を実施し、到着地において他教室の児童との交流や体験活動を行っている。



推進員：高橋 稔 氏（写真右）

3 事業の成果

- 推進員（コーディネーター）が、地域ボランティアや企業等と連携・協働した活動の機会を設定することにより、放課後教室への理解が深まるとともに、子どもたちが地域の自然・産業等への興味関心を高めるきっかけとなっている。
- 事業に関わる地域ボランティア等が自身の知識や経験を生かし、子どもたちのためにできる活動を主体的に実践することにより、ボランティアの生きがいにつながっている。

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		1人	6人	40人	H21	有
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携一一体型	
	土曜日等の教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		設置日		委員数	児童生徒数	学級数
	コミュニティ・スクール					

1 活動の概要

- 根室市では、放課後子供教室と放課後児童クラブを一体型で運営し、全ての児童を対象とした放課後等における活動を総合的に支援している。
- 活動を「学習の場」「体験の場」「交流の場」「遊びの場」「伝承文化の場」「生活の場」の6つに分類し、推進員（コーディネーター）を中心に様々な事業を企画・実施している。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実

- 推進員が、市放課後子どもプランに基づき、学校や教育委員会、地域の団体等と連絡・調整を実施

多くの住民参画

- 校区の町内会や保護者会、地域の方々を対象とした見学会を実施

地域の特色を生かした活動

- 「根室の自然」や「北方領土」などをテーマにした学習を地域の関係団体等と連携して実施

地域人材を活用した「ふるさと教育」の推進

奥尻町 檜山管内

【活動名】

おくしりチャレンジスクール

【関係する学校】

町内幼稚園・小学校・中学校・高等学校



おくしり森林学校

2 特徴的な活動内容

- おくしりチャレンジスクール「おくしり森林学校」では、檜山森林管理署と連携し、森林官の方々を講師として、奥尻島が育む樹木について、直接木に触れたり、太さを測ったりするなどの体験活動を行った。
- 「親子ふれあい手作りリース体験」では、文化協会に所属している「ガーデニングクラブ」の方々を講師に、奥尻の自然の素材を使ったリースづくりを行い、完成作品は奥尻町総合文化祭で展示した。
- 「カランセを学ぼう」では、家庭教育サポート企業等の「ハートランドフェリー株式会社奥尻支店」と連携し、奥尻島にとって重要な交通手段であるフェリーの船内の見学や乗務員の説明などを通して、親子で島の生命線である航路についての理解を深めた。



推進員：ガーデニングクラブ

3 事業の成果

- 子どもたちが地域住民と関わりながら、地域の自然・文化・産業等を学ぶことにより、地域のよさや課題を見つめるきっかけとなるとともに、郷土を愛する心の育成につながった。
- 地域人材を活用し、様々な体験活動を行うことにより、平成30年4月から奥尻・青苗両小学校に導入するコミュニティ・スクールの土台作りにつなげることができた。

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
	土曜日等の教育支援活動	○ 統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		0人	8人	18人	H29	有
	コミュニティ・スクール	設置日		委員数	児童生徒数	学級数

1 活動の概要

- おくしりチャレンジスクールでは、1ヶ月に一度、子どもたちが普段経験できない自然・文化・産業等について体験する活動を行っている。
- 社会教育団体、家庭教育サポート企業等、行政機関が連携・協働し、地域の人材を活用しながら、奥尻町の子どもの体験活動を推進している。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 教育委員会社会教育係全体がコーディネーター役を担い、地域人材を生かした取組を推進

多くの住民参画

- 文化協会などの社会教育団体、家庭教育サポート企業等の多くの関係機関と連携

地域の特色を生かした活動

- 奥尻島の森林学習や自然素材を使ったリースづくり等の体験活動を実施

子ども未来塾で学習習慣の定着を目指す

新冠町 日高管内

【活動名】

新冠町子ども未来塾

【関係する学校】

新冠小・朝日小



参加者による学習の様子

2 特徴的な活動内容

- 新冠町では、放課後子供教室と放課後児童クラブを教育委員会が所管し、それぞれの機能をしっかり捉えながら、相互に関連付けを行い、町民センター内で一体的に実施している。
- 放課後子供教室及び放課後児童クラブでは、学習時間を毎日設定しているが、児童の学習習慣の確立に向け、週に一度、同じ町民センター内で子ども未来塾として、推進員（学習支援員）を配置し、子どもたちへの支援を行っている。
- 放課後児童クラブは、保護者の迎えがある場合、最大 18 時まで利用可能としている。帰宅後に十分な家庭学習の時間を確保できない児童に配慮し、放課後子供教室終了後の 16 時 30 分から、子ども未来塾を実施している。

3 事業の成果

- 参加者は、学校の宿題や問題集などを持参し、自分の計画に基づいて学習することで、自宅でも計画的に学習するきっかけづくりとなっている。
- 多くの町民が利用する町民センター内で、推進員（学習支援員）が児童の学習を支援する子ども未来塾を実施することで、地域住民により地域全体で子どもたちの成長を支えるという機運が醸成されてきている。

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		1人	0人		H25	○
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
	土曜日等の教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
コミュニティ・スクール	設置日		委員数	児童生徒数	学級数	

1 活動の概要

- 新冠町では、放課後子供教室、放課後児童クラブ、子ども未来塾の3つの事業を、町民センターを会場として、同一の施設内で実施している。
- 子ども未来塾については、現在、推進員（学習支援員）1名を配置し、放課後子供教室終了後に、週に一度、同じ町民センター内で実施している。



推進員：會田 眸 氏

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネートの機能の充実	■教育委員会が放課後児童クラブを所管することにより、複数事業を連携
多くの住民参画	■子どもの健やかな成長のために継続的な活動となるよう団体等の連携や住民への周知の工夫
地域の特色を生かした活動	■町民センターを会場に放課後の子どもの居場所づくりを一体的に実施

こんな活動です

通年で多様な学習機会を提供する学習支援

上富良野町 上川管内

【活動名】

ちよこつと学習

【関係する学校】

町内小学校（4年生～6年生）



ALTによる「英語でクッキング」

2 特徴的な活動内容

- 「多様な学習機会の提供」を主な目的とし、学校の授業以外で学習できる場、中高生や大学生と共に学習する機会、地域全体で小学生を見守る体制等、学習環境の整備を重視しながら実施している。
- 教育委員会の学校教育アドバイザーがコーディネーターの役割を担い、各学校や学習支援者との調整を行っている。大学生の確保については、道教委の学校サポーター制度を活用するほか、北海道教育大学旭川校と直接連携し、長期的なサポート体制の確立を実現している。その他に、学校の教員や中学生、高校生、町の学習支援員を積極的に活用し、参加者数に対して十分なサポートができるよう、また、参加する子どもたちがリラックスして臨めるよう配慮している。

3 事業の成果

- 学校の学習内容に合わせた学習を計画的に取り入れ、参加者の年齢に近い支援員を多く活用することで、事業が子どもたちのニーズを捉えたものとなり、参加者も回を追うごとに増えている。
- 学校教育アドバイザーがコーディネートを行うことにより、学校との協働がスムーズに図られており、教員やALTの協力を得ながら事業を展開することができている。

基本データ	地域学校協働基盤活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		3人	7人	随時	H24	無
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		実施場所	学習支援	児童クラブとの連携		
	土曜日等の教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	コミュニティ・スクール	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	

1 活動の概要

- 上富良野町では、6月～3月までの土曜日、月に1回程度、「ちよこつと学習」を実施している。夏季及び冬季の長期休業中は、それぞれ平日に2回程度実施している。
- ほっかいどうチャレンジテストの活用や、領域・内容問題等の補充的学習の他、英語活動や全国学力・学習状況調査のA問題等、幅広い学習に取り組んでいる。



地元の高校生による学習サポート

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネートの機能の充実	■ 学校教育アドバイザーがコーディネートを行い、各学校等との連絡・調整を実施
多くの住民参画	■ 社会人の他、中学生や高校生にも参加を積極的に呼びかけ、多様で幅広い地域人材を発掘
地域の特色を生かした活動	■ 土曜日を中心に実施することで、子どもの居場所づくりを実施

大学との相互連携協定により大学生を活用した土曜学習塾

浜頓別町 宗谷管内

【活動名】

はまとんべつ土曜学習塾

【関係する学校】

浜頓別小・頓別小・浜頓別中



大学生による授業風景

基本データ	地域学校協働基盤活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人	0人	20人	H20	有
	子ども未来塾	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			1人	0人	5人	H29	有
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			0人	1人	14人	H19	有
			実施場所	学習支援	児童クラブとの連携		
			浜頓別町多目的アリーナ	無	連携型		
	土曜日等の教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
コミュニティ・スクール		設置日	委員数	児童生徒数	学級数		

1 活動の概要

- 浜頓別町では、今年度から毎月1回土曜日に、浜頓別町内の小学生（小学4年生以上）と中学生を対象に土曜学習塾を実施している。
- 大学生やALT、地域住民が講師となり、学習内容の定着や学習の習慣化を図ることを目的に英語、算数の学習支援の他、体力向上に向け、跳び箱やマット運動なども実施している。



学習支援員：浦瀧拓巳氏、金野恵氏

2 特徴的な活動内容

- 子ども一人一人の状況に合わせた学習を行っており、ほっかいどうチャレンジテストや大学生が作成した問題を教材として活用している。一人一人の解答を大学生が採点し、コメントを記入することにより、学習への意欲を高めるとともに、苦手な内容の克服を目指している。
- 学習支援や体力向上プログラムの実施を担当する学習支援員として大学生を活用することにより、子どもたちが年齢の近い大学生からのアドバイスを受け、楽しみながら学習できるようにしている。
- 土曜学習塾の様子について広報を発行し、子どもたちや保護者、学校へ情報提供を行うことにより、事業を周知し、事業の参加・協力への理解を深めている。

3 事業の成果

- 少人数での指導の中で、子どもの苦手な内容を確認し、それぞれの学習状況に合わせて作成した問題やほっかいどうチャレンジテストを活用することにより、苦手な内容の克服を図ることができた。
- 土曜日に学習機会を提供し、大学生や地域住民と関わりながら学習することにより、子どもたちの学習の習慣化や放課後等の居場所づくりにつながった。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 教育委員会がコーディネーター役を担い、地域と学校の連携を推進

多くの住民参画

- 事業の様子を伝える広報の発行により、子どもたちや保護者、地域住民へ事業を周知

地域の特色を生かした活動

- 北海道教育大学との相互連携協定により、大学生を学習支援員として活用

【過去の実践事例集について】

◇ 北海道教育委員会では、平成26年度からの実践事例集をホームページに掲載しています。
ぜひ御活用ください。

URL : <http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kcs/kyoikushien24.htm>

平成26年度
学校・家庭・地域の連携による
教育支援活動
～実践事例集～

北海道教育委員会
平成27年3月

～ 目 次 ～

1. 平成26年度採れた「地域による学校支援活動」推進にかゝる文部科学大臣表彰受賞活動

①オホーツク管内・網走市（学校支援地域本部事業）	P 1
②十勝管内・帯広市立つじつじゅ小学校（学校支援地域本部事業）	P 2
③十勝管内・帯広市立花園小学校（学校支援地域本部事業）	P 3

2. 北海道学校・家庭・地域の連携による放課後児童健全育成事業推進委員会が各地設置奨励した活動

①空知管内・栗山町（放課後子供教室推進事業）	P 4
②石狩管内・石狩市（放課後子供教室推進事業）	P 5
③釧路管内・厚沢部町（放課後子供教室推進事業）	P 6
④上川管内・上富良野町（放課後子供教室推進事業）	P 7
⑤オホーツク管内・小清水町（放課後子供教室推進事業）	P 8
⑥十勝管内・清水町（放課後子供教室推進事業）	P 9
⑦釧路管内・今金町（土曜学習）	P 10
⑧オホーツク管内・網走市（土曜学習）	P 11

3. 土曜学習の取組事例

①釧路管内・美帯町	P 12
②上川管内・士別市	P 13
③宗谷管内・様似町	P 14

～平成26年度～

平成27年度
学校・家庭・地域の連携による
教育支援活動
～実践事例集～

北海道教育委員会
平成28年3月

～ 目 次 ～

1. 平成27年度採れた「地域による学校支援活動」推進にかゝる文部科学大臣表彰受賞活動

①釧路管内・釧路市（学校支援地域本部事業）	P 1
②宗谷管内・様似町（放課後子供教室）	P 2
③オホーツク管内・網走市（放課後子供教室）	P 3

2. 各町村における実践事例

①空知管内・南穂町（放課後子供教室）	P 4
②日高管内・様似町（放課後子供教室）	P 5
③十勝管内・清水町（放課後子供教室）	P 6
④空知管内・岩見沢市（子ども未来塾）	P 7
⑤石狩管内・江別市（子ども未来塾）	P 8
⑥後志管内・古平町（子ども未来塾）	P 9
⑦上川管内・東神楽町（子ども未来塾）	P 10
⑧上川管内・東神楽町（土曜学習）	P 11
⑨釧路管内・釧路市（コミュニティ・スタール）	P 12

～平成27年度～



～平成28年度～

平成29年度「地域学校協働活動」実践事例集

発行 平成30年3月
北海道教育委員会

問合せ 〒060-8544
札幌市中央区北3条西7丁目
北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ
TEL 011-204-5753
FAX 011-232-1072
URL <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kcs/index2.htm>

